

平成 29 年度第 1 回 広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会 会議要旨

- 1 開催日時 平成 29 年 7 月 13 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分
- 2 開催場所 広島市役所本庁舎 14 階 第 7 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
秋山委員長、川本委員、木矢委員、吉中委員
 - (2) 臨時委員
吉川委員
 - (3) 地方独立行政法人広島市立病院機構
理事長、副理事長、広島市民病院長、安佐市民病院長、舟入市民病院長、リハビリテーション病院長、本部事務局次長、安佐市民病院整備室長、広島市民病院事務長、安佐市民病院事務長、舟入市民病院事務長、リハビリテーション病院事務長、経営管理課長、財務課長
 - (4) 会計監査人
有限責任監査法人トーマツ広島事務所 公認会計士
 - (5) 事務局
健康福祉局長、保健部長、市立病院担当部長、市立病院担当課長
- 4 議事
 - (1) 平成 28 年度地方独立行政法人広島市立病院機構の財務諸表について
 - (2) 平成 28 年度地方独立行政法人広島市立病院機構の業務の実績に関する評価について
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 傍聴者
一般傍聴者 4 人
報道機関 0 社
- 7 会議資料
 - 資料 1 平成 29 年度第 1 回 広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会審議事項についての説明資料
 - 資料 2 財務諸表 平成 28 年度（第 3 期事業年度）
 - 資料 3 平成 28 年度 業務実績報告書
 - 参考資料 1 平成 29 年度広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会開催スケジュール
 - 参考資料 2 地方独立行政法人広島市立病院機構 各事業年度及び中期目標期間における業務の実績に関する評価の基本方針
 - 参考資料 3 地方独立行政法人広島市立病院機構 各事業年度における業務の実績に関する評価の実施要領
 - 参考資料 4 平成 28 年度決算説明資料
 - 参考資料 5 地方独立行政法人広島市立病院機構 中期目標
 - 参考資料 6 地方独立行政法人広島市立病院機構 中期計画・年度計画（平成 28 年度）

8 会議要旨

(1) 今年度の会議スケジュールの説明について

ア 説明

- 事務局（市立病院担当課長）が、**参考資料1**により今年度の会議スケジュールを説明。

イ 質疑・意見交換

なし

(2) 委員長の選出について

事務局が、資料3「広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会条例」により、委員長は委員の互選によることを説明。

秋山委員が全会一致で委員長に選出された。

(3) 審議事項の説明について

ア 説明

- 事務局（市立病院担当課長）が、**資料1**、**参考資料2**、**参考資料3**により審議事項の概要を説明。

イ 質疑・意見交換

なし

(4) 財務諸表の確認について

ア 財務諸表の説明

- 市立病院機構（財務課長）が、**資料2**及び**参考資料4**より説明。

イ 質疑・意見交換

[秋山委員長]

- 会計監査人としては、2年連続の赤字について、どう感じているか。

[会計監査人]

- ここ2年赤字であるが、病院事業が営利事業かという疑問はある。ただし、赤字が続くと市民の負担になるので、収支の改善は必要である。
- 赤字の大きな原因としては、職員増による人件費の増である。職員が増えることは、医療の質の向上や職場環境の改善が図られるということで、これは悪いことではない。したがって、直ちに人件費をカットするということが望ましいとは思わないが、不要な時間外勤務が増えていないかチェックするなどして、人件費の削減を図ることを考える必要があるのではないか。

(5) 業務の実績に関する評価について

ア 法人の自己評価の説明

- 市立病院機構（経営管理課長）が、**資料3**により説明。

イ 質疑・意見交換

[秋山委員長]

- 災害医療の提供について、熊本への派遣のことだと思うが、年度計画を上回ってやったことを具体的に説明してほしい。

[市立病院機構（経営管理課長）]

- ・ 4月16日から19日までDMAT隊を派遣し、広島市民病院から4名、安佐市民病院から5名が、それぞれ避難所や医療センターで、医療救護活動に従事した。
- ・ 医療救護班は、広島市民病院については、4月27日から4月30日、JMATとして5名、また、安佐市民病院については、4月30日から5月3日までJMATとして6名が、阿蘇温泉病院及び阿蘇医療センターにおいて、医療救護活動に従事した。

[秋山委員長]

- ・ 実際にDMATを派遣したということでよいか。

[市立病院機構（経営管理課長）]

- ・ 広島市民病院及び安佐市民病院が、それぞれ派遣した。

[秋山委員長]

- ・ 病棟薬剤師は、7名配置とあるが、評価は「3」なのか。配置によってかなり増収につながったことなど具体的な理由でもあれば「4」でもよいのではないか。

[市立病院機構（理事長）]

- ・ 病棟に薬剤師がいるのが普通であると思っており、4年計画で薬剤師を30人増やす計画である。一気に増やすのは無理なので、4年かけて増やし、今年度で完了である。病棟薬剤師の配置により収入は増えているが、赤字解消に結びついたわけではないので、評価を「3」とした。

[市立病院機構（副理事長）]

- ・ 昨年は、計画どおりに人員配置できなかったので、評価を「2」としたが、今回は計画どおり、配置を終えたということで、「3」とした。

[川本委員]

- ・ 病棟薬剤師の配置であるが、医師・看護師の負担軽減につながるなら評価が「4」でもいいのではないか。

[市立病院機構（副理事長）]

- ・ 医師及び看護師の負担軽減を図る目的で、薬剤師を配置したが、計画どおりなので評価を「3」にした。

[木矢委員]

- ・ 15ページの病棟夜勤体制等の充実について、育児短時間勤務看護師を、夜勤ローテーションに入れているが、大変難しいことであると考えている。夜間保育などいろいろな対応をしているのか。

[市立病院機構（理事長）]

- ・ 夜間保育はしていないが、月に1回から4回くらいは、育児短時間勤務者でも夜勤ができるという人がいるので、入ってもらっている。
- ・ 育児短時間勤務制度を利用していない人との不公平感があり、夜勤ができる人には夜勤入りしてもらい、夜勤の負担を平準化することで、この制度の維持につなげている。

[秋山委員長]

- ・ 今回は、17 ページまでで質問を終えたい。
- ・ 安佐市民病院の救急体制の充実については、非常によくがんばっているようであるが、どれくらい計画を上回ったか。

[市立病院機構（理事長）]

- ・ 計画では、はっきりした数値目標は決めていないが、体制を変えている状況である。

(6) 事務連絡

[事務局（市立病院担当課長）]

- ・ 本日、財務諸表や業務実績報告書について質問をいただいたが、それ以外のことについても質問などがあれば、「ご質問・ご意見 F A X シート」に記入いただいて、F A X かメールでお送りいただきたい。いただいた質問等は、次回の評価委員会までに機構に提供し、対応してもらうことにしているので、7 月 19 日の午前中までに送付していただきたい。

[秋山委員長]

- ・ 次回の評価委員会にも機構の職員が出席されるようなので、質問事項があったらその時に聴いていただきたい。

[事務局（市立病院担当課長）]

- ・ 次回、第 2 回の評価委員会は 7 月 25 日、再来週の火曜日の 18 時 30 分からこの会場で開催させていただき、会議の前半は、引き続き、業務実績報告について質疑応答などを行い、後半は、評価委員会として財務諸表に対する意見及び業務実績に関する評価について御審議いただきたいと考えている。